

# 花嫁着付けの部 (美容師対象)

## 競技要綱

### (1) 申込規定

資格:美容師であること。(年齢制限なし)

### (2) 競技種目 (モデル競技)

和装花嫁打掛姿(かつらの種類は自由・角隠しは不要)  
基本的な花嫁着付け技術を基準とする。

### (3) 競技時間

かつら下地・化粧・かつら・体型補正から長襦袢の着付けまで ..... 80分(監視員立会いの下、控室にて行う)  
掛下を羽織らせるところから、打掛姿のポーズ付けまで ..... 25分(ステージにて行う)

### (4) 競技方法

競技は監視委員の指示の下、控室にてかつら下地・化粧・かつら・こうがい・体型補正・長襦袢の着付けまでを80分間でいき、次にステージにて掛下を羽織らせるところから打掛までの着付けと、草履を履かせ、正面立ち姿のポーズ付けまでを25分間でいく。

### (5) 競技規定細目等 ※違反者は、減点もしくは失格となります

#### 《競技規定細目》

1. 化粧は競技時間内に下地から始める。
2. モデルが化粧について施術、またはそれらの手直しをすること等は不可。
3. モデルがかつらの鉢巻布・ネットを一時押さえる、またはセルロイドを持つことは可。
4. かつらにこうがい等を事前に付けておくことは不可。
5. 掛下・打掛の事前の衿縫いは可。
6. 帯の縫止めは不可。
7. 前もって帯に形付けをしたり、帯や着物に印を書いたり糸印を付けておくことは不可。
8. クリップの使用は衿止め・袖止め合わせて7本以内とする。
9. ステージ上で衣裳・小物等を衣裳箱の外に出すのは、競技開始後とする。
10. 草履は打掛を羽織らせてから履かせる。
11. 掛下帯は平らな状態で屏風だたみにし準備しておく。
  - 掛下帯の幅出しをクリップで止めておくことは不可。
  - 強い折り癖がついているものは認めない。
  - 掛下文庫の羽根を予めクリップで形付けておくことは不可。
12. 作り帯(完成品及び半完成品)の使用は不可。
13. 補正用品の使用について。
  - 事前に完成された補正用品の使用は不可。
  - 補正は、タオル・綿花・コットン・ガーゼさらしを使用して整えること。
  - 補正について、縫い合わせてあるものは不可。
  - キャミソール、胸巻きの使用は可。  
但し、事前に綿花等を挟んだり、縫い付けていない。
  - 補正バンド(包帯止め型)の使用は可。
  - 補正を押さえるテープの使用は可。
  - 補正を、事前に形付けることは不可。
  - 協会で販売している補正パットの使用は可。
14. モデルにボディエー修正の時、体に付けた補正パッドを一時押さえさせることは不可。
15. モデルに長襦袢・掛下の衿合わせを一時押さえる等、技術の補助をさせることは不可。
16. 競技中、モデルに技術の補助をさせることは不可。
17. 打掛を押さえる肩ベルト・テープの使用は不可。  
ただし掛け下、打ち掛けを肩にかける時、一時的に ぶり の先を手持たせることは許容。
18. ポーズ付けに、打掛ベルト・袖止めの使用は可。
19. ポーズ付けに、掛下の前の裾を整える為にクリップを使用することは不可。
20. ポーズ付けに袖板の使用は不可。
21. 技術中及び型づけの修正に、ヘラ等の特殊な用具を用いることは禁止。

※ 貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので各自充分にご注意下さい。

- (6) 《審査事項》 大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。
- (7) 《監視事項》 大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。
- (8) 《採点精算》 大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。
- (9) 《順位決定》 順位の決定は審査員の採点の合計点に基づき、実施する。
- (10) 《表彰》 入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。

#### 《選手の服装・モデル・使用する衣裳等》

1. 選手の服装は白の上衣、黒のスラックス、黒のソックス  
(又はパンプスインソックスを着用・素足不可)、靴は脱ぎ履きしやすいものに限る(ピンヒール・サンダル・ブーツ・スニーカー不可)
2. モデルは各自同伴のこと。プロ・アマいずれも可。
3. 競技に使用するかつら・衣裳及び下着類・着付け小物・メイク道具一式は各自持参のこと。

各自持参物

かつら、こうがい、かつら付けの必需品、打掛、掛下、掛下帯、長襦袢、6点セット(帯止め・帯あげ・抱え帯・懐剣・懐紙入れ・末広 それぞれ刺繍・飾りのついていないもの)、打掛ベルト、草履、衿止め・袖止め(合わせて7本以内)、着付け小物(紐類・伊達締又は伊達巻・帯板・帯枕・補正用品等)、化粧品、化粧用具、モデル用カウチ、衣裳敷き(100cm×150cm)、**卓上鏡(縦35cm×横25cm以内)**、他必需品一式。

※おしゃれ帯板、衿飾りの使用は禁止。  
※競技で使用する衣裳箱は当日配布します。

#### 《当日の行動及び禁止事項等》

1. 当日の行動は監視委員及び誘導員の指示に従うこと。
2. 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
3. 競技中、選手とモデルは必要以上の会話等をしてはならない。
4. 用具等の忘れ物があっても大会本部から貸し出しは一切しない。
5. 他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は退場を命じることがある。
6. 競技終了後、選手はモデルに一切手を触れてはならない。
7. 審査終了までモデル自身が手直しすることも一切認めない。
8. 助手の使用は一切認めない。
9. 大会当日、控室への出入は選手・モデル以外は一切認めない。  
(衣裳の搬出入時に1名のみ可。但し、直ちに退出すること。)
10. 選手・モデルとも結果発表まで控室で待機すること。(記念撮影あり)
11. 記念撮影は遠方の方を優先とし、写場にて選手自身が形付けをして頂きます。
12. 表彰式の際は、モデル同伴で指示された場所に速やかに移動すること。